

各学校や地域における地域学校協働活動の推進を目的に、地域と学校の連携・協働に関する情報を発信する連携協働通信「架け橋」を発行します。

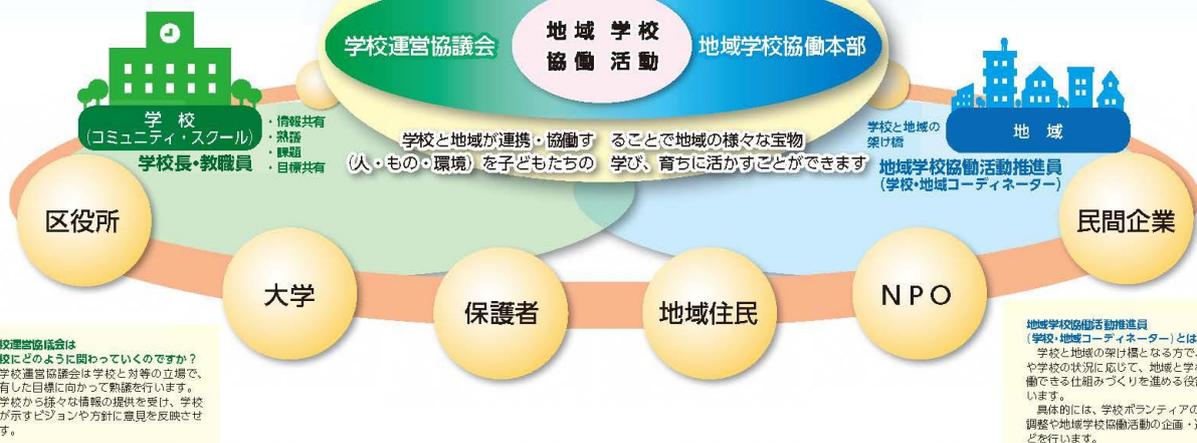
地域とともに子どもを育む学校づくり

学校運営協議会と地域学校協働本部が一体となって横浜の子どもを育てます

学校運営協議会は、地域・保護者の皆さんと学校が目標を共有し、一定の権限と責任を持って学校運営に参画する仕組みです。この仕組みを持つ学校を「コミュニティ・スクール」と言います。



地域学校協働本部は、既存の地域と学校の連携体制をもとにして、**地域学校協働活動推進員(学校・地域コーディネーター)**が中心となって緩やかなネットワークを形成し、より多くの幅広い地域の皆さんや団体等の参画によって地域学校協働活動を推進する体制です。



学校運営協議会は学校にどのように関わっていくのですか？
学校運営協議会は学校と対等の立場で、共有した目標に向かって熟議を行います。
学校から様々な情報の提供を受け、学校長が示すビジョンや方針に意見を反映させます。

地域学校協働活動推進員(学校・地域コーディネーター)とは？
学校と地域の架け橋となる方で、地域や学校の状況に応じて、地域と学校が協働できる仕組みづくりを進める役割を担います。
具体的には、学校ボランティアの募集・調整や地域学校協働活動の企画・運営などを行います。

社会や学校を取り巻く環境が複雑、多様化している中で、子どもに関する課題を解決して、横浜の子ども豊かな成長を実現するために、地域と学校が連携・協働していく必要があります。横浜市では、学校運営協議会と地域学校協働本部が一体となって地域と学校が連携・協働していく体制を推進していきます。

Q 地域と学校の連携・協働は、どうして大切か？

A これからの社会においては、子どもたちの教育は学校だけで行うのではなく、地域と学校が学校教育目標や教育ビジョンを共有して一体となって子どもの成長を育んでいくことが重要です。子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、学校だけではなく、社会総がかりでの教育の実現が不可欠です。



「第3期横浜市教育振興基本計画」では、令和4年度末までに、全校に学校運営協議会と地域学校協働本部を設置することを目標としています。未設置校におかれましては、委員の選出の仕方や申請の方法、地域への説明の仕方等、ご不明な点や疑問な点がございましたら、いつでも遠慮なく学校支援・地域連携課(TEL 671-3278)までご連絡ください。

学校運営協議会について

小学校では新学習指導要領実施スタートの年を迎えました。

社会に開かれた教育課程の実現に向けて、学校運営協議会をさらに充実させ、未来を担う子どもの育成を目指していきましょう。

学校運営協議会 設置率50%

令和2年4月1日現在、全市立学校509校のうち255校が学校運営協議会の設置校（コミュニティ・スクール）となりました。学校支援・地域連携課は設置校の運営への支援も行っています。質問やお困りごとがある時はいつでもご相談ください。

小学校 52.9%
中学校 46.2%
特別支援学校 30.8%
高等学校 22.2%
義務教育学校 100%



様々な可能性を秘めた学校運営協議会

学校運営協議会の成果として挙げられるものの中で、「地域との連携が一層進んだ」「子どもたちの教育活動が充実した」といったものはとても多いです。

令和元年度の報告書では、地域との連携では約92%、子どもの育成では約84%の学校から、成果があったと回答されました。

さらに、「安全・安心な学校環境づくり」「学校長の心のゆとり創出、教職員の人材育成、子どもの自己有用感の醸成」「地域側にもメリット拡大」といった成果もあったようです。

学校運営協議会は、様々な可能性を持っていると言えるのではないのでしょうか。

学校運営協議会のポイント

学校運営協議会を設置するだけで、成果が表れるわけではありません。学校運営協議会は学校運営や教育活動のPDCAを推進するために活用するツールとお考え下さい。

機能が十分発揮されるように運営を行う際のポイントとして、学校運営協議会が担う事柄の焦点を明確にしてしぼることが挙げられます。

“あれもこれも”というより、“これだけは”ということを明確にすると良いようです。



未設置校はどうしたらいいの？



未設置校は、学校内や地域の方と設置に向けた検討を進めてください。多くのケースでは約1年間の準備期間を経て設置をしています。学校支援・地域連携課では、設置までの様々なケースをご紹介しますので、ご不明点がございましたらお問い合わせください。

学校・地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)の募集

本年度も、地域と学校の連携・協働を推進するために、地域と学校を繋ぎ、総合調整を行う「学校・地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)」の養成講座を開催いたします。本講座は、推薦元の学校で学校・地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)として活動することを目標にプログラムを組んでおり、年間5回、講座を開催します。



学校・地域コーディネーターがまだいらっしゃらない学校におかれましては、ぜひこの機会に学校・地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)としてご活躍いただきたい方について推薦をお願いいたします。

○受講者の方には、養成講座全5回の出席をお願いしています。

○第1回目の養成講座は、6月1日(月)14時より、花咲研修室で開催する予定です。

○令和元年度末現在、315校の学校・地域コーディネーターの方を養成しました。

※「学校・地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)養成講座」は、4月中旬より募集を開始します。詳しくは、4月中旬に学校便利帳で発出予定の文書をご覧ください。

学校運営協議会 未設置校研修(悉皆研修) ※予定



令和4年度末までの学校運営協議会の全校設置に向けて、令和2年度に「学校運営協議会未設置校研修」を悉皆で開催する予定です。学校運営協議会の役割や効果、委員の選出の仕方、設置までの手順等について説明します。管理職の方や地域連携担当の教員だけでなく、委員予定者の方の参加も可能です。学校運営協議会未設置校は、1名は必ず出席してください。詳しくは、**4月下旬に発出予定の通知文をご確認ください。**

<日時> (東部・南部方面) 令和2年6月16日(火) 15:30~16:45 開港記念会館
(西部・北部方面) 令和2年6月19日(金) 15:30~16:45 開港記念会館

※原則、ご自分の学校の方面での参加ですが、ご都合の悪い場合は、日時の変更は可能です。

リーフレットの発行



地域と学校の連携・協働の推進に向けて、リーフレット「地域とともに子どもを育む学校づくり(令和2年度版)」を発行しました。年度初めに各校に3部配布しますので、ご活用ください。